



がん治療における口腔ケア

H24.3

4 階病棟 兼原直美 三笠優子

治療を始める前に

抗がん剤治療や放射線治療は、がん細胞を破壊するための治療ですが、同時に正常な細胞にもダメージを与えてしまい、口の中には口腔粘膜炎、乾燥、虫歯、歯周病、味覚障害、カンジタ症などのトラブルが起こりやすくなります。

がん治療前から正しいお口のケアを行うことで副作用を予防し、症状の悪化を防ぐことができます。

がん治療により口腔粘膜炎の起こる確率 米国国立歯科頭蓋顔面研究所（NIDCR）より

抗がん剤治療を受ける患者さん	40%
頭頸部がんの放射線治療（口腔領域が照射野に入る）を受ける患者さん	100%
骨髄移植を受ける患者さん	75%

お口のケアの方法

歯磨き

柔らかいナイロン製の歯ブラシで 1 日 3 回は歯磨きをしましょう。多くの歯磨き剤に含まれる泡立ち成分（ラウリル硫酸ナトリウム）は、口腔粘膜に刺激を与え炎症を悪化させると言われているので、泡立ち成分が含まれていないものを選びましょう。

うがい

水・うがい薬・アルコール成分を含まないマウスウォッシュなどを使用して、治療で免疫力が下がる時期には 1 日 5 回程度行いましょう。

義歯（入れ歯）のお手入れ

治療中は、粘膜を傷つけないために、食事以外のときは義歯を外しておきましょう。義歯は汚れやすいので 1 日 1 回は義歯を外して専用ブラシで清掃してください。

お口のケアのタイミング（◎：非常におすすめ ○：おすすめ）

	うがい	歯磨き	保湿ケア	目的
起床時	◎	○		寝ているときに増えた細菌を除去するため
食前	◎		○	食べ物と一緒に細菌を飲み込まないため 食べ物によって粘膜を傷つけないため
食後	○	◎	○	食べかすを除去するため
就寝前	◎	○	◎	寝ている時に細菌が増えるのを抑えるため
夜、目が覚めた時	○		○	お口の乾燥感を緩和して、ぐっすり眠るため



連絡先：長門総合病院 地域医療福祉連携室（宮本、岡山、田村）
 TEL 0837-22-2518（直通）
 FAX 0837-22-2539（直通）
 E-mail renkei@nagato-hp.ecnet.jp